

会 議 録

会議の名称	第8回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成28年10月25日(火) 18時00分から19時15分まで
開催場所	白岡市保健福祉総合センター(はびすしらおか)会議室6・7
委員長等	委員長 佐々木 操 副委員長 熊坂敏彦
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	熊坂敏彦、中村輝久、五十嵐泰子、柳 和志、佐々木 操、高橋道禎、小林伸子、佐々木祥仁、島村 隆、安藤貴徳、橋本正秀、石塚昭仁、細井宣雄 (出席者：13名)
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	大橋忠夫、高橋純悦、岩上陽子 (欠席者：3名)
説明員の職・氏名	企画政策課政策調整担当 課長補佐 大谷昌司、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
事務局職員の職・氏名	企画政策課長 篠塚 淳 課長補佐 大谷昌司、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央
その他会議出席者の職・氏名	白岡市 副市長 秋葉清一郎、総合政策部長 笠原英之
傍聴者数	1人
会議次第	別添のとおり
配布資料	資料1 平成27年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の実施結果について 資料2 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る取組の実施状況(平成28年度上半期)について 資料3-1 シラオカ麺開発事業の概要 資料3-2 第5次白岡市総合振興計画基本構想案の概要

(会議の経過)

発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局	1 開会 開会宣言
事務局	2 あいさつ 佐々木委員長より挨拶 秋葉副市長より挨拶
事務局	(会議の公開について説明)
委員長	3 議題 (1) 平成27年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 (地方創生先行型)活用事業の実施結果」について それでは、議題(1)の「平成27年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の実施結果」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料1に基づき説明)
委員長	ただ今の説明について、御意見がありましたらお願いします。
P委員	総合戦略では、子育て家庭への支援としながら、担当課に農政課や健康増進課が示されています。基本的にこれらの事業は、子育て支援課と一緒にやる必要があるのではないのでしょうか。 例えば、「新生児誕生お祝い事業」をみると、新生児に対する申請率は89%です。母子手帳を渡す時に配布すれば、100%に近い配布率を達成できるのではないのでしょうか。そういう点で、子育て支援課や保健センターとどのような連携で行ったのか疑問に感じます。私は、この「お祝い事業」は新生児全員に配布する必要があるものではないかと思います。 また、「不妊治療の助成事業」では、プライバシーの問題もありますが、市内で出産しようとする人たち、子どもを育てようとする人たちの意識を変えるためにも啓発活動なども必要であると思いますが、いかがでしょうか。
委員長	事務局より回答をお願いします。

事務局	<p>はじめに「新生児誕生祝い事業」についてお答えします。</p> <p>この事業は、新生児が誕生し市民課へ出生届けを提出する際、窓口で市民課がパンフレットをもってこの事業の趣旨を説明しています。</p> <p>実施の検討をした中では、すべての方にお配りしたほうがよいのではという意見もありましたが、これは「新生児誕生祝い事業」という名称であり、さまざまなケースで出産をしている方もいることから、申請主義を採用したというものです。昨年度よりも今年度の申請件数は増えているようですので、引き続き啓発に努めてまいります。</p> <p>次に「不妊治療費助成事業」に関しては、御指摘のとおり、意識の啓発というものは大切なことです。健康増進課では、早めの治療を受けてもらえるように啓発活動を進めているということです。</p>
P委員	<p>「新生児誕生祝い事業」の件で、申請主義ではなく母子手帳を発行した時点のほうが、子育て支援の観点からも、市民課だけの対応ではなく子育ての一環として連携が必要なのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>母子手帳は、健康増進課で発行しているものです。</p> <p>もちろん、子育て支援課でも「新生児誕生祝い事業」があるということは、機会を捉えて周知を図っていただいております。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略については、市全体で共通認識を持って策定しておりますので、各課においても引き続き連携を図ってまいりたいと思います。</p>
委員長	<p>他にございますか。</p> <p>商工観光課の特産品開発事業に関して、中村委員何かございますか。</p>
C委員	<p>商工会においても、長年にわたり特産品の開発は実施しております。現在も市の意見なども伺いながら、新たな商品づくりを進めております。</p> <p>今回の商工観光課の取組については、なぜ売れないのかというところまで踏み込んで研究を進めており、当方としても今後の事業に活かしていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他に御意見はありますか。</p> <p>子育て支援の観点から、D委員何かございますか。</p>
D委員	<p>先ほどP委員から意見のありました「新生児誕生祝い事業」について、母子手帳が出るタイミングで発行するほうがよいと発言されておりました。</p> <p>私の記憶では、生まれた方に渡すものという認識でしたが、どちらが正しいのでしょうか。</p>

(会議の経過)

事務局	「新生児誕生祝い事業」という名称のとおり、生まれた段階で発行するものです。
委員長	他にございますか。
I 委員	「特産品開発事業」の開発候補の品目をもう一度教えてください。
事務局	現在、特産品のメニューの選定を行っております。候補としては、「ふりかけ」、「ドレッシング」、「スイーツ」、「ゼリー」の4種類を加工品（特産品）として選定しております。 今後は、使用する食材等をしっかりと選定して商品化を図ってまいります。
I 委員	評価の実績値をみると、目標値の5件に対し実績値が0件であるのに、達成状況をみると「おおむね達成」となっています。その数字だけを見てしまうとその意味が御理解いただけない状況なのかなと感じました。 説明を聞いて、経過の段階で加工品として選定されれば「おおむね達成」になることが分かりましたので、納得しました。
委員長	他に質問はありますか。
委員	(なしの声あり)
委員長	ないようでございますので、次の議事に移りたいと思います。
事務局	(2) 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る取組の実施状況 (平成28年度上半期)について (資料2に基づき説明)
委員長	ただ今の説明について、御意見がありましたらお願いします。
P 委員	36ページの「市公式ホームページの充実」についてお聞きします。 市のホームページを閲覧すると、ボタンをクリックしてもそのページに入れないボタンがあるようです。市民の利便性を考え、市ホームページの更なる充実をお願いします。

(会議の経過)

事務局	関係課と連携を図りながらホームページの更なる充実に努めてまいりたいと思います。
熊坂副委員長	意見ではありませんが、37ページの「SNSの活用の検討」についてお聞きします。取組成果をみると、この事業は、企画政策課がTwitterを利用して防犯情報等に限定した情報を発信しているものと私は認識しましたが、そういうことでしょうか。 発信する情報媒体を考えた時、FacebookやInstagramなど特性の違う媒体を使用することも可能であると思います。若い人向けにイベントの告知などを行う時の活用方法について教えてください。
事務局	SNSの関係にあたっては、FacebookやInstagramなどの活用も検討しました。 若い方は、FacebookやInstagramなどの活用は多いようですが、高齢者を含めた全体を考えるとTwitterの利用者が多い状況でした。また、拡散性があり防災関係の情報発信を考えた時、Twitterの活用が一番利用しやすいということで、今回はTwitterを活用することとしたものです。 引き続きInstagramなどの活用については、検討してまいりたいと思います。 なお、防災情報等に限定した情報を発信していたことについては、9月の試験運用時には、台風等が多かったため防災関係の情報を多く発信していたもので、現在では、各課からイベント等の情報も発信している状況です。 教育委員会では小中学校の給食メニューを毎日発信しており、保護者の皆様からは好評をいただいております。 いずれにしても、引き続きSNSの活用については検討・研究を進めてまいります。
委員長	他に質問はありますか。
委員	(なしの声あり)
委員長	ないようでございますので、次の議事に移りたいと思います。
事務局	(3) その他 (資料3に基づき説明)

(会議の経過)

委員長	ただ今の説明について、御意見・御質問等がありましたらお願いします。
P委員	総合振興計画について、10月1日時点で市の総人口が5万2千人を超えています。これを減らさないようにしていくのは必要なことであると感じています。 特に、新白岡駅西口の開発がずいぶんと進んでいるように感じますが、土地利用基本構想に見合った形の構想を引き続き考えていただければと思います。
事務局	総合振興計画では、基本構想のほかに基本計画も策定しています。 そちらには、更に細かい内容も含めて記載するようになっておりますので、よろしくお願いします。
K委員	なぜ、麺なのか教えてください。 仮面と麺は何のつながりもありませんし、市は小麦粉などが特産品となっているからなのでしょう。 また、市の基本構想の中に農業従事者の育成となっておりますが、その育成がどこにもありません。3月の会議の時には、農業振興で農業を担う新たな人々を推進すると言っておきながら、この麺の話であったので、その話はどこにいったしまったのか。
事務局	麺を活用するのは、語呂合わせで「シラオ仮面」と「シラオカ麺」をかけたものです。 農業振興の御意見については、6次産業化で地場産業を活用したのものとして進めており、「シラオ仮面」はシティプロモーションの一環で推進しているものです。少し尖がった企画として「シラオカ麺」を開発したらどうかということで、このような形で進めているものです。 なお、白岡市内の店舗は、ラーメンやそば、うどん、スパゲッティ、フォーなど色々な麺がありますので、市内の飲食店の応援をするということでこういう内容としているものです。
委員長	ほかに御質問等がありますか。
委員	(なしの声あり)
委員長	ないようでございますので、最後に熊坂副委員長お願いします。
熊坂副委員長	本日は、活発な御審議をいただき、たいへん参考になったものと思います。

(会議の経過)

事務局	<p>今回は、半年振りの会議という中で、ここで御意見を交わした内容が着実に歩みはじめているものと感じています。</p> <p>産業振興だけではなく、福祉や医療分野など魅力あるまちづくりに向けて進んでいくものと思います。</p> <p>半年後には、1年の成果の報告がありますのでそれを楽しみにしてまいりたいと思います。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局から事務連絡をいたします。</p> <p>(次回の会議(平成29年3月開催)を説明)</p>
事務局	<p>4 閉会 閉会宣言</p>